教科	音楽	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作者の思いを歌声にのせて合唱しよう 「生命が羽ばたくとき」	4	・新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、作者の思いを読み取りながら音楽学習への意欲、態度を育てる。 【歌唱】 【道徳との関連】	・声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ・音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	・歌唱表現に関わる知識（声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり）や技能（音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など）を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう。 「交響曲第5番　ハ短調」	3	・曲の構成を捉え、音色の変化との関わりを考えながら鑑賞する。 【鑑賞】	「交響曲第5番ハ短調」の曲想と音楽の構造の関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。	「交響曲第5番ハ短調」の音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したこと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「交響曲第5番ハ短調」のよさや美しさを味わって聴く。	「交響曲第5番ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりや、オーケストラの豊かな響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に学習に取り組む。
曲の形式を生かして歌おう。 「浜辺の歌」	1	・曲の形式を生かして歌おう 【歌唱】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	リズム・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱の学習に取り組む。
パートの役割を生かして合わせて歌おう 「時の旅人」他1曲	10	・曲の形式を生かして歌おう 【歌唱】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	リズム・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱の学習に取り組む。
曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう。 「小フーガト短調」	2	・曲想の変化を生かして歌おう 【歌唱】 【道徳との関連】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	速度・旋律・強弱・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習に取り組む。
箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう 「六段の調べ」	4	・箏の基本的な奏法を身に付けよう。 【器楽】	・箏の音色と奏法との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。	・音色・リズム・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。	・箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習に取り組む。
旋律に合うリズムパターンをつくろう 「トガトン」	2	・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の組み合わせなどの技能を身に付ける。 【創作】	・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の組み合わせなどの技能を身に付ける。	リズム・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。	課題や条件に沿った音を選択し組み合わせることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に学習に取り組む。
曲想を味わいながら合わせて歌おう 「はばたこう明日へ」 「変わらないもの」	4	・曲想の変化を生かして歌おう 【歌唱】 【道徳との関連】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	速度・旋律・強弱・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱の学習に取り組む。
生活習慣と音楽 「音楽史」 「ブルタバ」	3	・他国の多様で様々な表現を鑑賞しよう。 【鑑賞】	・時代の流れとともに変化する音楽の役割や様式等、その特徴から音楽の多様性について理解する。	・様々な表現の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴く。	・様々な表現の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協同的に鑑賞の学習に取り組む。